

ミニデイ【おとこの台所 桜新町だより】

発行責任者 桜新町広報：石井利男、岡元正史

◎ハリウッド映画【ローマの休日】

若い頃に映画館で観たり、いまDVDで繰り返し鑑賞したりと、懐かしい方もいらっしゃるでしょう。ローマの名だたる観光スポットが次々に登場して明るい名所案内映画の一面もあります。アメリカでの映画の公開は1953年（日本では1954年）。

映画は世界中で大ヒットしました。

今年は映画の公開から70周年です。

製作・監督ウィリアム・ワイラー、原案・脚本イアン・マクレラン・ハンター、主演グレゴリー・ペック／オードリー・ヘプバーン。

当時、新人だったヘプバーンは本作でアカデミー賞「最優秀主演女優賞」を受賞し一躍大スターに。

ハンターは「最優秀原案賞」を受賞しました。

しかし実際の原案はダルトン・トランボ、脚本はトランボとハンターの共同執筆でした。トランボは、映画監督、脚本家、小説家です。



◎映画のクレジットから【トランボ】の名前が消されてしまった理由とは？

1948年頃から50年代前半。虚実はどうであれアメリカ政府が【共産主義者と同調者】と見なした者を排斥する【赤狩り】の嵐が全米で吹き荒れていました。

トランボは【共産主義者】として、また【同調者】と見なされてブラックリストに載ったチャールズ・チャプリン、オーソン・ウェルズ（「第三の男」主演）、劇作家のアーサー・ミラー、歌手のハリー・ベラフォンテ、原子爆弾の開発者・オッペンハイマーまで（あまりに数が多いので略）が表舞台から追放されました。

また仲間からの実態とは違った嘘の密告が横行し排斥された人々も多かったです。皮肉なことにのちにハンター自身もブラックリストに載ることになります。

トランボはハリウッドを追放された後も偽名を使って、映画ファンなら誰でも知っている数々の名作の脚本を書き続けます。

映画「ローマの休日」の公開から40年後の1993年。

映画芸術科学アカデミーはアメリカ政府へ安易に同調した誤ちを認めて、トランボの名誉を回復。アカデミーは新たなオスカー像を作り直します。1976年にトランボはすでに亡くなっていたので、オスカー像は未亡人に手渡されました。華やかで明るい名作の裏に隠されたアメリカ社会の深くて暗い闇の話です。

10月の定例会 参加者は、5日（木）13名、13日（金）12名でした。

11月の定例会 2日（木）、10日（金）です。